

令和8年度

三好市立王地小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 互いの意見を認め合い、自らの考えを深められる授業の実践
- 学んだことを進んで表現し、活用できる授業の実践

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題に真面目に取り組む児童が多く、基礎的な知識や技能が身につけている。 ○タブレット端末を活用したドリル学習に継続的に取り組んでいる。 ●学習した漢字や句を用いて文章を書く等、活用する力が十分に育っていない。また、語彙が乏しく、内容を正しく読み取ったり書き表したりすることに課題がある。	・学習した基礎的な知識・技能を他の学習場面で活用することができる。 ・多くの語彙を獲得し、文章を正しく読み取ったり、書いたりすることができる。	・タブレット端末を有効活用し、個に応じた課題やタイプの違う問題に取り組ませる。 ・内容を正しく読み取ることができるよう、文章に線や丸を書き入れさせる。 ・単元に関連付けた本を教室に置いて言語環境を整えたり、屋読やファミ読の設定や積極的な図書室利用の呼びかけをしたりして、読書量を増やす。 ・しっかり話を聞くことができるよう、聴写をしたり、朝会での話を要約したりする機会を設ける。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや意見を発表したり、友達の意見や教員の話を聞いたりすることができる児童が多い。 ●必要な情報を取捨選択する力が十分に育っていない児童が多く、相手の意図を正しく理解しながら聞くことに課題がある。また、根拠を明らかにして自分の考えを述べたり、書いたりすることに課題がある。	・様々な形態の文章を読み、必要な情報を得ることができる。 ・相手の意図を考えながら話を聞いたり、根拠や理由を明確にして、自分の考えや意見を伝えたりすることができる。	・子ども新聞を読み取り等に活用したり、様々な長文等に触れる機会を意図的に設定したりする。 ・ホワイトボードやICT機器等を効果的に取り入れて、自分の考えを整理して話したり書いたりする機会を設け、表現力の育成を図る。 ・普段の学習や生活において、自信を持って話せるよう共通の題材でスピーチをしたり、話し合ったりする機会を増やす。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いた態度で授業や与えられた課題に取り組むことができる。 ●自分から課題を見つけたり、根気よく最後まで取り組んだりすることが苦手な児童がいる。	・目的意識をしっかりと持って、自分から考え、進んで学習したり活動したりすることができる。 ・自分に合った学習課題を見つけ、根気強く継続的に取り組むことができる。	・学ぶことのおもしろさに気づくことができるよう、児童が興味・関心を持って学習したくなるような授業改善をする。 ・子どもたちが主体的に学び、自らのゴールに到達できるようICT環境や辞書・辞典等の学習支援ツールを充実させる。 ・めあてに対する振り返りの時間を確保し、達成感を味わわせたり、次への課題を見つけられるよう支援したりする。			